

## 学生の確保の見通し等を記載した書類 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）

### （1）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生の確保の見通し

##### ア 定員充足の見込み

新設する体育学研究科体育学専攻博士課程後期の定員充足の見込み

定員設定の考え方として、博士課程後期では、既設の体育学専攻修士課程の3領域の研究内容や高度解析技術を発展させて、高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備えて専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する体育・スポーツ科学の研究者専門職を育成することを目的としていることから、少数の大学院生に対して教員の綿密な指導による質の高い教育環境を整える必要がある。

このため、博士課程後期が3つの領域で構成されていることと、本学体育学専攻修士課程を修了し、他大学の大学院博士課程に進学する大学院生が、毎年概ね3名程度いることを踏まえ、博士課程後期の入学定員を3名と設定した。

博士課程後期は、博士課程前期の教育研究内容を発展させて設置されることから、博士課程前期の修了生が博士課程後期へ進学するケースが多いと想定される。そのため、定員充足の見込みを検討するにあたり、2019年12月、進学対象となる体育学専攻修士課程1年生に進学意向のアンケート調査を実施した。

その結果、本学大学院博士課程後期への進学を希望すると回答した学生は5名であり、設定する入学定員を上回った。

また、我が国の体育・スポーツ系大学院博士後期課程の志願・入学者数について、過去3年度調査したところ、本学博士課程後期が所在する関東圏の大学については、概ね定員を充足し、一部の大学では、定員を大きく上回る多数の大学院生を受け入れている状況であることから、関東圏の大学院の体育・スポーツ系博士後期課程への進学需要は高い傾向にあると考えられる。

さらに定員充足の見込みの確認するため、2020年度修士課程1年生と学部、修士課程修了生（すでに社会人となっている者）に対して進学意向のアンケート調査を実施した。

#### ■2020年度修士課程1年生への進学意向のアンケート調査

2020年5月、博士課程後期の基礎となる体育学研究科体育学専攻修士課程1年生に対して進学意向のアンケート調査を実施した。

その結果、本学大学院博士課程後期への「進学を希望する」と回答した学生は3名であり、設定する入学定員に達した。

#### ■学部生への進学意向のアンケート調査

2020年5月、体育学部の1～4年生（修業年限超過者含む）に対して進学意向のアンケート調査を実施した。

まずは修士課程への進学希望を問う設問に対し、「進学を希望する」と回答したのは次のとおりであった。

4年生以上（修業年限超過者含む）は6名、3年生は3名、2年生は1名、1年生は0名。

学年が上がるほど進学希望者が多くなっており、これは高学年になるほどゼミナールや卒業研究を通じ自身の研究活動の進捗や取り組む意欲が高まっているため、学部で行った研究を修士課程においても継続したいと考える学生が増えるためと考えられる。2020年度は本学においても新学期開始がゴールデンウィーク明けであった。4年生以上においては新学年開始直後の段階で明確に修士課程への進学希望を示した学生が6名おり、今後卒業研究等が進むにつれ、研究活動への意欲の高まりから、進学希望者が増えることが見込まれる。

続いて博士課程後期への進学希望を問う設問に対し、4年生以上では「進学を希望する」と回答したのは1名であった。しかし、前述のとおり修士課程に進学後、さらに研究活動を継続させていくことで博士課程後期への進学意欲が向上することが見込まれる。後述する「進学説明会」において博士課程後期における研究活動のイメージを明確し、説明内容を充実化させることで、特に「進学先の1つとして検討する」と回答した7名（4年生以上）を中心により進学希望者を拡充させることは可能であると考え。

また、3年生は現時点で博士課程後期へ「進学を希望する」の回答者が3名おり、上述のような取り組みでさらに段階的な進学希望者の拡充を達成することができる。

#### ■修了生への進学意向のアンケート調査

2020年8月、修了生（修士課程を修了し、すでに社会人となっている者）53名に対して進学意向のアンケート調査を実施した。

結果、「あなたは、設置構想中の体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）が開設された場合、今後、進学を希望しますか？」の設問に、「進学を希望する」と回答した者が5名に達した。

これまでの進学意向アンケート調査の結果をまとめれば、次の通りとなる。  
(2019年12月実施) 修士課程1年生（現在修士課程2年生）【博士課程後期開設年度進学対象】への調査では、「進学を希望する」5名。

(2020年5月実施) 修士課程1年生【博士課程後期開設2年度進学対象】への調査では、「進学を希望する」3名。

(2020年5月実施) 学部4年生以上【博士課程後期開設完成年度進学対象】

への調査では、「進学を希望する」1名、「条件が合えば進学を希望する」0名、「進学先の1つとして検討する」7名。

〈2020年5月実施〉学部3年生【博士課程後期開設4年度進学対象】への調査では、「進学を希望する」3名、「条件が合えば進学を希望する」7名、「進学先の1つとして検討する」10名。

以上の結果に、修了生（社会人）の「進学を希望する」5名を加えれば、博士課程後期が設定する入学定員3名は、中長期的に、継続的に確保できることが見込まれる。

## イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### 1) 本学修士課程修了生の他大学博士課程への進学状況（資料1）

2011年度以降の本学修士課程修了生の他大学博士課程への進学状況を一覧にした。毎年、概ね3名程度の本学修士課程修了生が、他大学の博士課程へ進学している。

### 2) 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査（資料2）

博士課程後期設置後、進学対象となる修士課程の1年生に対して、2019年12月、博士課程後期への進学に関するアンケート調査を実施した。調査では、修士課程（博士前期課程）修了後の進学関心と、本学博士課程課程後期への進学の可能性を明確に探った。その結果、5名（回答者数の20%）の学生が本学博士課程課程後期への進学を希望していることが判明した。

今後、修士課程の1年生に対して、博士課程後期のカリキュラムや教員構成、研究内容などを詳細に説明する機会を設けることにより、1)で述べた他大学博士課程へ進学していた修了生について、本学の博士課程後期へ進学する道筋をつける。

### 3) 我が国の体育・スポーツ系大学院博士後期課程の志願・入学者数（資料3）

本学博士課程後期と類似する、体育・スポーツ系大学院研究科博士後期課程の入試状況について、国公立大学を含めて調査した。

志願者数を公表していない大学があるが、本学博士課程後期が所在する関東圏において、一部の大学では、定員を大きく上回る多数の大学院生を受け入れている状況であり、関東圏の大学院における体育・スポーツ系博士後期課程の進学需要は高い傾向にあると考えられる。

### 4) 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査（2020年度修士課程1年生対象）（資料4）

2020年5月、修士課程1年生に博士課程後期への進学に関するアンケート調査を実施した。調査では、本学博士課程後期への進学の可能性を明確に探った。その結果、修士課程1年生において、本学博士課程後期への進学を希

望している学生数は3名であり、入学定員に達していることが判明した。

- 5) 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査（2020年度体育学部生対象）（資料5）

2020年5月、体育学部1～4年生（修業年限超過者含む）に対して、博士課程後期への進学に関するアンケート調査を実施した。調査では、本学博士課程後期への進学の可能性を明確に探った。その結果、学部3～4年生以上において、本学博士課程後期への進学を希望している・進学先の1つとして検討している学生数及がほぼ入学定員に達していることが判明した。

- 6) 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査（修士課程修了生対象）（資料6）

2020年8月、修了生（社会人となっている者）に対して、博士課程後期設置後の進学意向を確認すべく博士課程後期への進学に関するアンケート調査を実施した。調査では、本学博士課程後期への進学の可能性を明確に探った。その結果、本学博士課程後期への進学を希望している者が5名に達していることが判明した。

## ウ 学生納付金の設定の考え方

- 1) 既設研究科との比較

博士課程後期は、修士課程の教育研究内容と接続しているため、博士課程後期の学生納付金額は、修士課程と同額の、初年度学納金 1,369,000（入学金 300,000 円、授業料 701,000 円／年、教育運営費・施設設備費 368,000 円／年）を設定している。

なお、本学大学院において、文系の研究科の初年度学納金は 1,309,000 円、理工系の研究科の初年度学納金は 1,446,000 円となっており、体育学研究科は、文系・理工系両方に学問領域が亘ることから、文系・理工系の中間の金額となっている。

- 2) 近隣の競合校等の状況との比較

博士課程後期には、既設の修士課程の修了生が多く進学することを想定している。本学修士課程から進学する場合、入学金等が減額され、初年度学納金は、869,000 円となる。

本学と同じ私立大学で、近隣に所在する体育・スポーツ科学分野の大学院博士課程の初年度学納金は、慶応義塾大学大学院 720,000 円、順天堂大学大学院 800,000 円、早稲田大学大学院 947,000 円、日本体育大学大学院 1,048,000 円、国士舘大学大学院 1,344,000 円となっており、この中において、本学博士課程後期の学費は、中間の水準であり、適切な金額設定となっている。

## ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

### 新設する博士課程後期の取組状況

「設置の趣旨等を記載した書類」で述べた研究情報交換会は、博士課程後期の大学院生だけでなく修士課程（博士課程前期）の大学院生も参加して、大学院研究指導教員と大学院学生の活発な議論が展開されるが、この中で、博士課程前期と博士課程後期との連続を意識させ、これを博士課程後期への進学の一環としていく。

また、修士課程の大学院生に対して、毎年度4月初め及び10月初めにガイダンスを行うが、この機会を捉えて、博士課程後期の教育研究目的、教育課程等の説明、アナウンスを行い、博士課程後期への進学につなげる。

以上の機会に加えて「進学説明会」の充実を行う。現在、例年10月に、学部生を対象として、体育学研究科修士課程への「進学説明会」を開催している。この「進学説明会」は、体育学研究科修士課程の概要説明、研究指導教員の紹介に加え、修士課程の在學生や修了生との意見交換等を含んだ進学相談会としている。この説明会の目的は、学部生が持つ希望や計画と、実際の修士課程の研究内容・進路等を学生単位で個別にマッチングすることであり、教員・在學生・修了生と直接話ができる環境を整えて行われるものである。これを博士課程後期への進学も含めた内容に充実することで、学部生に対して博士課程後期までの進学意欲を喚起し、進学につなげる。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

体育学研究科博士課程後期の教育研究上の目的は、社会の情勢や時代の変化に合わせ、体育学研究科博士課程前期の研究内容や高度解析技術を発展させて、高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備えて専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する人材を養成することである。

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠

#### 1) 社会的な人材需要

文部科学省が平成29年3月に策定した第2期「スポーツ基本計画」は、スポーツ基本法の規定に基づき、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針として位置付けられている。

第2期「スポーツ基本計画」では、「スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保」が挙げられ、次の通り示されている。

(略)

(2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

[施策目標]

スポーツに関わる人材の全体像を把握しつつ、アスリートのキャリア形成援や、指導者、専門スタッフ、審判員、経営人材などスポーツ活動を支える人材の育成を図ることにより、スポーツ参画人口の拡大に向けた環境を整備する。

[現状と課題]

(略)

・医療、栄養、スポーツ科学、ドーピング検査など専門スタッフが少ない。

(略)

[具体的施策]

(略)

<専門スタッフ、審判員、スポーツボランティア等>

サ 国及び日体協は、スポーツ団体及び大学等と連携し、医療・栄養・トレーニング・心理等のスポーツ科学などの専門的な知識・技術を有する人材の資質向上を促進し…

(略)

このことから、スポーツ科学に関する、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備えて専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する人材を養成することを目指す本学博士課程後期の設置は、「スポーツ基本計画」と方針を同じくしており、社会的な人材需要と合致している。

2) 企業等における人材需要

1) で述べた社会的な人材需要の動向をより明確にするため、博士課程後期修了後の進路として、採用動向を探ることを目的に、事業団や企業に対してヒアリング調査を行った。(資料7)

「明治安田厚生事業団体力医学研究所」は、採用において、体育・スポーツ系分野の博士学位取得者を非定期で募集しており、2019年度は2~3名程度募集している。なお、研究所の研究員は全員博士学位取得者とのことである。本学博士課程後期に対して、研究の成果を社会に還元する意思と方法を身につけた人材等の養成が求められ、本学博士課程後期への高い期待がうかがえた。

「株式会社 DKH」は、本学修士課程修了生の採用実績がある。この企業のグループ全体として、体育・スポーツ系分野の大学院修了者の採用を進めている

状況にあり、本学博士課程後期に対し、研究成果を社会に還元できる人材養成が求められた。

「日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所」では、業界としてスポーツ市場の開拓・参入について大きな関心を持っており、採用において、スポーツの現場の動向に精通し、データ分析などのノウハウを有する人材を求めているとのことである。

ヒアリング調査の結果、企業等において、体育・スポーツ系分野の博士学位取得者の人材需要があることが分かり、求める人材像として、「研究成果を社会に還元できる人材」が示された。この人材像は、本学博士課程後期の養成する人材と合致している。

このヒアリング調査に加え、本学博士課程後期の修了生に対する企業等の採用のニーズがどの程度あるのかを具体的に探ることを目的とし、企業や団体に対して本学博士課程後期が養成する人材の必要性及び修了した人材の採用意向等について回答を求めるアンケート調査を行った。(資料8)

アンケート調査の結果、企業等やその所属する業界において、本学博士課程後期が養成する人材が「とても必要だと思う」「必要だと思う」という回答が30箇所の企業等から得られ、本学博士課程後期が養成する人材の必要性を認める結果となった。さらに、修了者について17箇所の企業等が「採用したい」とし、本学博士課程後期の入学定員3名を大きく上回る結果となり、企業等において、体育・スポーツ系分野の博士学位取得者の人材需要があることが明確となった。

以上により、本学博士課程後期の設置は、社会的な人材需要及び企業等における人材需要の動向を踏まえている。

以 上

学生の確保の見通し等を記載した書類  
体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）

【資料目次】

- 資料 1 本学修士課程修了生の他大学博士課程への進学状況
- 資料 2 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査
- 資料 3 我が国の体育・スポーツ系大学院博士後期課程の志願・入学者数
- 資料 4 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査（2020年度修士1年生対象）
- 資料 5 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査（2020年度体育学部生対象）
- 資料 6 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程後期に関するアンケート調査（修士課程修了生対象）
- 資料 7 ヒアリング調査
- 資料 8 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置に関するアンケート調査（人材需要に関する調査）



## 本学修士課程修了生の他大学博士課程への進学状況

東海大学体育学部記念誌編集委員会『東海大学体育学部50年史・大学院体育学研究科40年史』2018年1月 より作成

進学年度	人数	進学先
2011年度	3名	中京大学大学院 博士課程
		筑波大学大学院 博士課程
		早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程
2012年度	6名	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程
		筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科
		順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程
		大阪体育大学大学院 博士課程
		エジンバラ大学大学院 博士課程
		広島大学大学院 博士課程
2013年度	2名	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程
		鹿屋大学大学院 博士課程
2014年度	2名	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程
		筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程
2016年度	4名	オタワ大学大学院 博士課程
		テネシー大学大学院 博士課程
		早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程
		順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程
2017年度	3名	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程
		チェコ共和国 大学院 博士課程
		九州工業大学大学院 博士課程

東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）  
の設置に関するアンケート調査 集計結果

調査対象 : 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（修士課程）1年生  
調査実施日 : 2019年12月2日（月）

調査対象者数	25		
有効回答者数	25		
設問		件数	全体%
設問1.	修士課程修了後の進路についてどのように考えますか？	25	
1	博士課程へ進学したい、または検討している	7	28.0%
2	就職したい	11	44.0%
3	未定	7	28.0%
設問2.	【設問1に対して、1を選択した方のみ】 博士課程へ進学したい、または検討している、と考える動機は何ですか？（複数選択可）	7	
1	博士の学位を取得するため	3	12.0%
2	研究職に就きたいため	4	16.0%
3	より高度な知識を身につけ、社会で活躍するため	3	12.0%
4	その他	0	0.0%
設問3.	【設問1に対して、1を選択した方のみ】 設置構想中の本学の体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）への進学を希望しますか？	7	
1	進学を希望する	5	20.0%
2	進学を希望しない	1	4.0%
3	未定	1	4.0%

**東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置に関するアンケート調査**  
**（無記名式／修士1年次生対象）**

＜回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません＞

東海大学では、現在、体育学研究科体育学専攻（修士課程）を基礎とする体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置計画を進めています。このアンケートは、在学生のみなさんの修了後の進学についてお聞きし、当課程の設置手続きを進めるための基礎資料とするものです。是非ご協力をお願いします。

なお、この調査結果は、当課程を設置するための基礎資料としてのみ使用し、その他の用途には使用しません。

次の【設置構想中 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の概要】と「類似する近隣の体育・スポーツ系大学院研究科博士課程後期一覧」を確認したうえで、アンケートに回答してください。

**【設置構想中 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の概要】**

**1. 研究科・専攻の概要**

名 称 : 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）

学 位 : 博士（体育学）

定 員 : 入学定員3名

標準修業年限 : 3年

開 設 時 期 : 2021年4月1日

開 設 校 舎 : 湘南校舎

学 費（予定） : 入学金 300,000 円 授業料等 1,069,000 円 合計 1,369,000 円

※本学修士課程・博士前期課程修了者は入学金等免除のため、合計 869,000 円

**2. 設置理念**

体育学研究科体育学専攻修士課程（博士課程前期）は、心身共に健全な人材の養成と体育関係の指導者の養成を図ることを基本的な指針として設置された本学の体育学部を基盤に、目まぐるしく変化していく社会に対し、広域化への対応を進めつつ、学部・大学院教育を通じ、より高度化した教育研究により社会への貢献を進めてきました。

このたび、修士課程（博士課程前期）の研究内容や高度解析技術を発展させて、極めて高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備え、専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する体育・スポ

ーツ科学の人材を育成することを目的として、博士課程後期を設置します。

### 3. 養成する人材像

体育・スポーツ科学領域において、高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備えて専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する人材

<裏面に続く>



## 東海大学体育学研究科体育学専攻博士課程後期【設置構想中】

所在地	区分	大学院名称	研究科名	専攻名		入学金	授業料(年間)	その他	合計
神奈川県	私立	東海大学大学院	体育学研究科	体育学専攻 博士課程後期	本学修士課程・博士課程前期修了者	-	¥ 701,000	¥ 168,000	¥ 869,000
					上記以外(参考)	¥ 300,000	¥ 701,000	¥ 368,000	¥ 1,369,000

## 類似する近隣の体育・スポーツ系大学院研究科博士後期課程一覧

所在地	区分	大学院名称	研究科名	専攻名	課程区分	入学定員	入学金	授業料(年間)	その他	合計
埼玉県	私立	早稲田大学大学院	スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	博士後期課程	30	¥ 200,000	¥ 677,000	¥ 70,000	¥ 947,000
千葉県	私立	順天堂大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士後期課程	10	¥ 200,000	¥ 550,000	¥ 50,000	¥ 800,000
東京都	私立	国士舘大学大学院	スポーツ・システム研究科	スポーツ・システム専攻	博士課程	3	¥ 240,000	¥ 770,000	¥ 334,000	¥ 1,344,000
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	体育科学専攻	博士後期課程	6	¥ 300,000	¥ 738,000	¥ 10,000	¥ 1,048,000
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	コーチング学専攻	博士後期課程	3	¥ 300,000	¥ 738,000	¥ 10,000	¥ 1,048,000
神奈川県	私立	慶応義塾大学大学院	健康マネジメント研究科	公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	後期博士課程	5	-	¥ 660,000	¥ 60,000	¥ 720,000

※1 各大学院情報については、公式Webサイト等により調査しました。

※2 学費以外の諸会費等は含んでいません。

## 我が国の体育・スポーツ系大学院博士後期課程の志願・入学者数

本表の内容は、各大学公式Webサイト等で掲載されている情報により調査した。

所在地	区分	大学院名称	研究科名	専攻名	課程区分	入学定員	2019年度		2018年度		2017年度	
							志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
茨城県	国立	筑波大学大学院	人間総合科学研究科	体育科学専攻	博士後期課程	15	24	15	26	16	20	15
茨城県	国立	筑波大学大学院	人間総合科学研究科	コーチング学専攻	3年制博士課程	5	13	7	15	8	10	8
茨城県	国立	筑波大学大学院	人間総合科学研究科	スポーツ医学専攻	3年制博士課程	10	21	14	11	9	10	10
埼玉県	私立	早稲田大学大学院	スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	博士後期課程	30	掲載無	29	掲載無	27	掲載無	22
千葉県	私立	順天堂大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士後期課程	10	掲載無	21	掲載無	11	掲載無	10
東京都	私立	国士舘大学大学院	スポーツ・システム研究科	スポーツシステム専攻	博士課程	3	掲載無	0	掲載無	掲載無	掲載無	掲載無
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	体育科学専攻	博士後期課程	6	14	11	14	10	14	12
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	コーチング学専攻 ※2018年度開設	博士後期課程	3	8	6	4	4		
神奈川県	私立	慶応義塾大学大学院	健康マネジメント研究科	公衆衛生・スポーツ健康科学専攻 ※2018年度開設	後期博士課程	5	7	6	9	7		
愛知県	私立	中京大学大学院	体育学研究科	体育学専攻	博士後期課程	4	9	9	6	5	4	4
滋賀県	私立	立命館大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士課程後期課程	8	4	4	5	5	10	10
京都府	私立	同志社大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士課程（後期）	3	1	0	3	3	2	1
大阪府	私立	大阪体育大学大学院	スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	博士後期課程	6	5	5	掲載無	1	掲載無	11
福岡県	私立	福岡大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士課程（後期）	4	1	1	掲載無	掲載無	掲載無	掲載無
鹿児島県	国立	鹿屋体育大学大学院	体育学研究科	体育学専攻	博士後期課程	6	7	7	4	4	9	8

東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）  
の設置に関するアンケート調査 集計結果

調査対象：東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（修士課程）1年生  
調査実施期間：2020年5月11日（月）～31日（日）

調査対象者数	14		
有効回答者数	14		
設問		件数	全体%
設問1.	修士課程修了後の進路についてどのように考えますか？	14	
1	博士課程へ進学したい、または検討している	7	50.0%
2	就職したい	4	28.6%
3	未定	3	21.4%
設問2.	【設問1に対して、1を選択した方のみ】 博士課程へ進学したい、または検討している、と考える動機は何ですか？（複数選択可）	7	
1	博士の学位を取得するため	5	35.7%
2	研究職に就きたいため	4	28.6%
3	より高度な知識を身につけ、社会で活躍するため	0	0.0%
4	その他	0	0.0%
設問3.	【設問1に対して、1を選択した方のみ】 設置構想中の本学の体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）への進学を希望しますか？	7	
1	進学を希望する	3	21.4%
2	進学を希望しない	0	0.0%
3	未定	4	28.6%



## 基本情報

名称	【0CGPM生用】体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)設置に関するアンケート	
説明	修了後の進路に関する進学意向調査です。	
実施期間	2020年5月11日(月)9時0分～2020年5月31日(日)17時0分	
作成者	博士課程設置準備会議	
回答時ヘッダー	東海大学では、現在、体育学研究科体育学専攻(修士課程)を基礎とする体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)の設置計画を進めています。このアンケートは、在学生のみなさんの修了後の進学についてお聞きし、当課程の設置手続きを進めるための基礎資料とするものです。添付ファイルを必ず参照のうえ、設問にご回答ください。 なお、この調査結果は、当課程を設置するための基礎資料としてのみ使用し、その他の用途には使用しません。	
回答時フッター	アンケートは以上です。	
照会時ヘッダー	入力内容をご確認ください	
照会時フッター	ご回答ありがとうございました。参考にさせていただきます。	
添付ファイル	ファイル1	博士課程後期の詳細
	ファイル2	
	ファイル3	

## 対象者

対象者の人数は、アンケートの対象者を登録した時点での人数です。

登録時点から公開までの間発生した、学生の異動や教職員の部署の異動などは反映されていません。

対象者を最新の状態にするためには、対象者設定画面で再度、登録処理を行ってください。

対象者	14人
公開者	個別設定(全学生 全教員 全職員)

## 設問

下記は、設定された設問の表示イメージです。ここに何か入力を行っても何も反映されません。

設問 1 *	1. 修士課程修了後の進路についてどのように考えますか？ <input type="text"/>
設問 2	2. 【設問1に対して、1を選択した方のみ】博士課程へ進学したい、または検討している、と考える動機は何ですか？(複数選択可) <input type="checkbox"/> 1. 博士の学位を取得するため <input type="checkbox"/> 2. 研究職に就きたいため <input type="checkbox"/> 3. 研究職に就きたいため <input type="checkbox"/> 4. その他
設問 3	3. 【設問2に対して4を選択した方のみ】その他の内容をご記入ください。 <input type="text"/>
設問 4	4. 【設問1に対して、1を選択した方のみ】設置構想中の本学の体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)への進学を希望しますか？ <input type="text"/>
設問 5	5. 体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)の設置準備にあたって、ご意見・ご要望等がありましたら、記入してください。 <input type="text"/>

東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置に関するアンケート調査  
（無記名式／修士1年次生対象）

<回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません>

東海大学では、現在、体育学研究科体育学専攻（修士課程）を基礎とする体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置計画を進めています。このアンケートは、在学生のみなさんの修了後の進学についてお聞きし、当課程の設置手続きを進めるための基礎資料とするものです。是非ご協力をお願いします。

なお、この調査結果は、当課程を設置するための基礎資料としてのみ使用し、その他の用途には使用しません。

次の【設置構想中 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の概要】と「類似する近隣の体育・スポーツ系大学院研究科博士課程後期一覧」を確認したうえで、アンケートに回答してください。

【設置構想中 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の概要】

1. 研究科・専攻の概要

名 称 : 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）

学 位 : 博士（体育学）

定 員 : 入学定員3名

標準修業年限 : 3年

開 設 時 期 : 2021年4月1日

開 設 校 舎 : 湘南校舎

学費（予定） : 入学金 300,000 円 授業料等 1,069,000 円 合計 1,369,000 円

※本学修士課程・博士前期課程修了者は入学金等免除のため、合計 869,000 円

2. 設置理念

体育学研究科体育学専攻修士課程（博士課程前期）は、心身共に健全な人材の養成と体育関係の指導者の養成を図ることを基本的な指針として設置された本学の体育学部を基盤に、目まぐるしく変化していく社会に対し、広域化への対応を進めつつ、学部・大学院教育を通じ、より高度化した教育研究により社会への貢献を進めてきました。

このたび、修士課程（博士課程前期）の研究内容や高度解析技術を発展させて、極めて高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備え、専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する体育・スポーツ科学の人材を育成することを目的として、博士課程後期を設置します。

3. 養成する人材像

博士後期では、他領域・他分野との研究・教育における融合を推進し、幅広い知識・考え方を修得して独創性・創造性に優れた高い研究能力を有し、それを社会に還元できる能力を有する研究者（大学教員、企業などの研究員）、専門職（スポーツアナリスト、スポーツ・アドミニストレーター）の育成を目指します。

<次ページに続く>

## 東海大学体育学研究科体育学専攻博士課程後期【設置構想中】

所在地	区分	大学院名称	研究科名	専攻名		入学金	授業料(年間)	その他	合計
神奈川県	私立	東海大学大学院	体育学研究科	体育学専攻 博士課程後期	本学修士課程・博士課程前期修了者	-	¥ 701,000	¥ 168,000	¥ 869,000
					上記以外(参考)	¥ 300,000	¥ 701,000	¥ 368,000	¥ 1,369,000

## 類似する近隣の体育・スポーツ系大学院研究科博士後期課程一覧

所在地	区分	大学院名称	研究科名	専攻名	課程区分	入学定員	入学金	授業料(年間)	その他	合計
埼玉県	私立	早稲田大学大学院	スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	博士後期課程	30	¥ 200,000	¥ 677,000	¥ 70,000	¥ 947,000
千葉県	私立	順天堂大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士後期課程	10	¥ 200,000	¥ 550,000	¥ 50,000	¥ 800,000
東京都	私立	国士舘大学大学院	スポーツ・システム研究科	スポーツ・システム専攻	博士課程	3	¥ 240,000	¥ 770,000	¥ 334,000	¥ 1,344,000
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	体育科学専攻	博士後期課程	6	¥ 300,000	¥ 738,000	¥ 10,000	¥ 1,048,000
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	コーチング学専攻	博士後期課程	3	¥ 300,000	¥ 738,000	¥ 10,000	¥ 1,048,000
神奈川県	私立	慶応義塾大学大学院	健康マネジメント研究科	公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	後期博士課程	5	-	¥ 660,000	¥ 60,000	¥ 720,000

※1 各大学院情報については、公式Webサイト等により調査しました。

※2 学費以外の諸会費等は含んでいません。

東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）  
の設置に関するアンケート調査 集計結果 1/2

調査対象 : 東海大学体育学部 1～4年生（修業年限超過者含む）  
調査実施期間：2020年5月11日（月）～31日（日）

調査対象者数	1898		
有効回答者数	651		
設問		件数	
設問1.	あなたの学年を教えてください。	651	
1	1年生	290	44.5%
2	2年生	40	6.1%
3	3年生	164	25.2%
4	4年生以上	157	24.1%
設問2.	あなたの所属学科を教えてください。	651	
1	体育学科	198	30.4%
2	競技スポーツ学科	133	20.4%
3	武道学科	101	15.5%
4	生涯スポーツ学科	142	21.8%
5	スポーツレジャー・マネジメント学科	77	11.8%

東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）  
の設置に関するアンケート調査 集計結果 2/2

調査対象者数	1898
有効回答者数	651

設問3.		学部卒業後の進路についてどのように考えますか？					
		1年生	2年生	3年生	4年生以上	合計	全体%
1	大学院へ進学したい	1	2	7	10	20	3.1%
2	条件があれば大学院へ進学したい	18	6	20	5	49	7.5%
3	就職したい	221	29	123	130	503	77.3%
4	未定	50	3	14	12	79	12.1%
合計		290	40	164	157	651	-

設問4.		（設問3に対して、1・2を選択した方のみ）本学の体育学研究科体育学専攻（修士・博士前期）への進学を希望しますか？					
		1年生	2年生	3年生	4年生以上	合計	全体%
1	進学を希望する	0	1	3	6	10	1.5%
2	条件があれば進学を希望する	4	0	7	1	12	1.8%
3	進学先の1つとして検討する	13	6	13	2	34	5.2%
4	進学を希望しない（他大学の大学院修士への進学を希望する）	1	0	2	6	9	1.4%
5	未定	1	1	2	0	4	0.6%
合計		19	8	27	15	69	-

設問5.		（設問4に対して、1・2・3を選択した方のみ）体育学研究科体育学専攻（博士後期）が開設された場合、進学を希望しますか？					
		1年生	2年生	3年生	4年生以上	合計	全体%
1	進学を希望する	0	0	3	1	4	0.6%
2	条件があれば進学を希望する	4	2	7	0	13	2.0%
3	進学先の1つとして検討する	13	4	10	7	34	5.2%
4	進学を希望しない（他大学の大学院修士への進学を希望する）	0	1	1	1	3	0.5%
5	未定	0	0	2	0	2	0.3%
合計		17	7	23	9	56	-

## 基本情報

名称	【学部生用】体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)設置に関するアンケート	
説明	卒業後の進路に関する進学意向調査です。	
実施期間	2020年5月11日(月)9時0分 ~ 2020年5月31日(日)17時0分	
作成者	博士課程設置準備会議	
回答時ヘッダー	東海大学では、現在、体育学研究科体育学専攻(修士課程)を基礎とする体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)の設置計画を進めています。このアンケートは、在学生のみなさんの卒業後の進学についてお聞きし、当課程の設置手続きを進めるための基礎資料とするものです。添付ファイルを必ず参照のうえ、設問にご回答ください。 なお、この調査結果は、当課程を設置するための基礎資料としてのみ使用し、その他の用途には使用しません。	
回答時フッター	アンケートは以上です。	
照会時ヘッダー	入力内容をご確認ください	
照会時フッター	ご回答ありがとうございました。参考にさせていただきます。	
添付ファイル	ファイル1	体育学研究科の詳細
	ファイル2	
	ファイル3	

## 対象者

対象者の人数は、アンケートの対象者を登録した時点での人数です。

登録時点から公開までの間発生した、学生の異動や教職員の部署の異動などは反映されていません。

対象者を最新の状態にするためには、対象者設定画面で再度、登録処理を行ってください。

対象者	1898人
公開者	個別設定(全学生 全教員 全職員)

## 設問

下記は、設定された設問の表示イメージです。ここに何か入力を行っても何も反映されません。

設問 1 *	1. あなたの学年を教えてください。 <input type="text"/>
設問 2 *	2. あなたの所属学科を教えてください。 <input type="text"/>
設問 3 *	3. 学部卒業後の進路についてどのように考えますか？ <input type="text"/>
設問 4	4. 【設問3に対して、1・2を選択した方のみ】本学の体育学研究科体育学専攻(修士・博士前期)への進学を希望しますか？ <input type="text"/>
設問 5	5. 【設問4に対して、1・2・3を選択した方のみ】体育学研究科体育学専攻(博士後期)が開設された場合、進学を希望しますか？ <input type="text"/>

**東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置に関するアンケート調査**  
**（無記名式／学部生対象）**

＜回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません＞

東海大学では、現在、体育学研究科体育学専攻（修士課程）を基礎とする体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置計画を進めています。このアンケートは、在学生のみなさんの卒業後の進学についてお聞きし、当課程の設置手続きを進めるための基礎資料とするものです。是非ご協力をお願いします。

なお、この調査結果は、当課程を設置するための基礎資料としてのみ使用し、その他の用途には使用しません。

----- **体育学研究科体育学専攻（修士課程・博士課程前期／博士課程後期※設置構想中）について** -----

**1. はじめに**

体育学研究科体育学専攻修士課程（博士課程前期）は、目まぐるしく変化していく社会に対し、広域化への対応を進めつつ、学部・大学院教育を通じ、より高度化した教育研究により社会への貢献を進めてきました。

このたび、修士課程（博士課程前期）の研究内容や高度解析技術を発展させて、極めて高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備え、専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する体育・スポーツ科学の人材を育成することを設置の理念・目的として、博士課程後期を設置します。

**2. 博士課程後期※設置構想中の概要**

名称：体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）

◎以下「博士後期」と表記

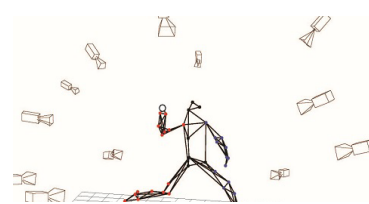
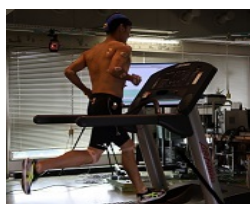
学位：博士（体育学）

定員：入学定員3名

標準修業年限：3年

開設時期：2021年4月1日

開設校舎：湘南校舎



「動き」を測る

**3. 養成する人材像**

修士（博士前期）では、「理論」と「実践」を重視した「体育・スポーツ科学」研究を通じて、より高度な職業人の育成を目指します。

博士後期では、他領域・他分野との研究・教育における融合を推進し、幅広い知識・考え方を修得して独創性・創造性に優れた高い研究能力を有し、それを社会に還元できる能力を有する研究者（大学教員、企業などの研究員）、専門職（スポーツアナリスト、スポーツ・アドミニストレーター）の育成を目指します。

**4. 本学修士修了生のメッセージ**

**金藤 理絵さん** 体育学研究科体育学専攻（修士）2012年度修了／リオ五輪 女子200m平泳ぎ優勝（金メダル）

大学4年間より少人数指導となり、指導内容もより専門的になります。また、知識を教わるだけでなく自ら研究することを通して、後輩たちに教える機会も増えるので、自分の知識や能力の整理・把握ができました。より責任も増え、自分のやるべきことが明白になり、今後のスキルアップにつながる、大切な2年間になりました。

長尾 秀行さん 体育学研究科体育学専攻（修士）2010年度修了/国立スポーツ科学センター スポーツ研究部 研究員

大学院は、皆さんが学部を卒業するまでに学ぶことで習得してきた知恵、知識、技能を最大限に活用する場です。それでもすぐには解決できない課題に何度も悩まされることでしょう。しかしその度に悩み、考えることは大変価値のある経験になります。皆さんも大学院で多くを学び、また経験して研究課題の答えを探究して下さい。

類似する近隣の体育・スポーツ系大学院研究科一覧

金額は(円)

所在地	学校名	研究科・専攻名	区分		入学金	授業用(年間)	その他	合計	
神奈川	東海大学大学院	体育学研究科体育学専攻	修士(博士前期)	本学学部卒業生	150,000	701,000	168,000	1,019,000	
				上記以外	300,000	701,000	368,000	1,369,000	
			博士後期 ※設置構 想中	本学修士・博士前期 修了者	-	701,000	168,000	869,000	
				上記以外	300,000	701,000	368,000	1,369,000	
所在地	学校名	研究科名	専攻名	区分	入学定員	入学金	授業用(年間)	その他	合計
埼玉	早稲田大学大学院	スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	修士(2年制)	140	200,000	926,000	70,000	1,196,000
				博士後期	30	200,000	677,000	70,000	947,000
千葉	順天堂大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士前期	61	200,000	550,000	50,000	800,000
				博士後期	10	200,000	550,000	50,000	800,000
東京	国土館大学大学院	スポーツ・システム研究科	スポーツ・システム専攻	修士	30	240,000	770,000	294,000	1,304,000
				博士	3	240,000	770,000	334,000	1,344,000
東京	日本体育大学大学院	体育科学研究科	体育科学専攻	博士前期	25	300,000	738,000	10,000	1,048,000
				博士後期	6	300,000	738,000	10,000	1,048,000
			コーチング学専攻	博士前期	12	300,000	738,000	10,000	1,048,000
				博士後期	3	300,000	738,000	10,000	1,048,000
神奈川	慶応義塾大学大学院	健康マネジメント研究科	公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	修士	30	-	1,630,000	60,000	1,690,000
				後期博士	5	-	660,000	60,000	720,000

以上



東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置に関するアンケート調査 集計結果

調査対象：東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（修士課程）修了生  
 調査実施期間：2020年8月11日（金）～18日（火）

調査依頼者数	53		
有効回答者数	49		
設問		件数	全体%
設問1.	あなたの修士課程修了年月を教えてください。		
	1995年～2020年3月修了生	—	—
設問2.	あなたの現在の職業を教えてください。		
	会社員、個人事業主、教員 等	—	—
設問3.	あなたが修士課程を修了したときに、本学の体育学研究科に博士課程後期があったと仮定した場合、あなたは、進学を希望しましたか？		
	東海大学大学院体育学研究科の博士課程への進学を希望した	22	44.9%
	希望しない（他大学大学院の博士課程への進学を希望する等）	14	28.6%
	わからない	13	26.5%
設問4.	あなたは、設置構想中の体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）が開設された場合、今後、進学を希望しますか？		
	進学を希望する	5	10.2%
	現在の就職先の許可や学費等の条件があれば進学を希望する	19	38.8%
	希望しない（他大学院博士課程を希望する等）	18	36.7%
	わからない	7	14.3%
設問5.	【設問3または4で、「進学を希望した」または「進学を希望する」場合】 進学を希望する、または検討している、と考える動機は何ですか？（複数選択可）		
	博士の学位を取得するため	21	42.9%
	研究職に就きたいため	9	18.4%
	設置の理念や養成する人材像に記載された力を身に付け、社会で活躍するため	17	34.7%
	その他（新たな知見の獲得と将来の選択肢を広げるため 等）	3	6.1%

## 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻 (博士後期課程) 【設置構想中】 の設置に関するアンケート調査 (無記名式/修士課程修了生対象)

東海大学では、現在、体育学研究科体育学専攻(修士課程)を基礎とする体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)の設置計画を進めております。このアンケート調査は、体育学専攻(修士課程)を修了された皆様の大学院博士課程への進学についてお伺いし、当課程の設置手続きを進めるための基礎資料とさせていただきますと考えております。メールでご案内した参考資料を参照のうえ、設問にご回答ください。

なお、この調査結果は、当課程を設置するための基礎資料としてのみ使用し、その他の用途には使用いたしません。

\* 必須

1. あなたの修士課程修了年月を教えてください。 例) 2019年3月、2019年9月 \*

回答を入力してください

2. あなたの現在の職業を教えてください。 例) 公務員、会社員、主婦(夫) \*

回答を入力してください

3. あなたが修士課程を修了したときに、本学の体育学研究科に博士課程後期があったと仮定した場合、あなたは、進学を希望しましたか? \*

- 東海大学大学院体育学研究科の博士課程への進学を希望した
- 希望しない(他大学院の博士課程への進学を希望する等)
- わからない

4. あなたは、設置構想中の体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)が開設された場合、今後、進学を希望しますか? \*

- 進学を希望する
- 現在の就職先の許可や学費等の条件があれば進学を希望する
- 希望しない(他大学院博士課程を希望する等)
- わからない

5. 【設問3または4で、「進学を希望した」または「進学を希望する」場合】  
進学を希望する、または検討している、と考える動機は何ですか? (複数選択可)

- 博士の学位を取得するため
- 研究職に就きたいため
- 設置の理念や養成する人材像に記載された力を身に付け、社会で活躍するため
- その他

6. 本学体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)【設置構想中】への要望等ございましたらご記入ください。

回答を入力してください

## 【設置構想中 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の概要】

### 1. 研究科・専攻の概要

名称 : 体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）

学位 : 博士（体育学）

定員 : 入学定員 3 名

標準修業年限 : 3 年

開設時期 : 2021 年 4 月 1 日

開設校舎 : 湘南校舎

学費（予定） : 入学金 300,000 円 授業料等 1,069,000 円

合計 1,369,000 円

※本学修士課程・博士前期課程修了者は入学金等免除のため、合計 869,000 円

### 2. 設置理念

体育学研究科体育学専攻修士課程（博士課程前期）は、心身共に健全な人材の養成と体育関係の指導者の養成を図ることを基本的な指針として設置された本学の体育学部を基盤に、目まぐるしく変化していく社会に対し、広域化への対応を進めつつ、学部・大学院教育を通じ、より高度化した教育研究により社会への貢献を進めてきました。

このたび、修士課程（博士課程前期）の研究内容や高度解析技術を発展させて、極めて高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備え、専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する体育・スポーツ科学の人材を育成することを目的として、博士課程後期を設置します。

### 3. 養成する人材像

博士後期では、他領域・他分野との研究・教育における融合を推進し、幅広い知識・考え方を修得して独創性・創造性に優れた高い研究能力を有し、それを社会に還元できる能力を有する研究者（大学教員、企業などの研究員）、専門職（スポーツアナリスト、スポーツ・アドミニストレーター）の育成を目指します。

## 東海大学体育学研究科体育学専攻博士課程後期【設置構想中】

所在地	区分	大学院名称	研究科名	専攻名		入学金	授業料(年間)	その他	合計
神奈川県	私立	東海大学大学院	体育学研究科	体育学専攻 博士課程後期	本学修士課程・博士課程前期修了者	-	¥ 701,000	¥ 168,000	¥ 869,000
					上記以外(参考)	¥ 300,000	¥ 701,000	¥ 368,000	¥ 1,369,000

## 類似する近隣の体育・スポーツ系大学院研究科博士後期課程一覧

所在地	区分	大学院名称	研究科名	専攻名	課程区分	入学定員	入学金	授業料(年間)	その他	合計
埼玉県	私立	早稲田大学大学院	スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	博士後期課程	30	¥ 200,000	¥ 677,000	¥ 70,000	¥ 947,000
千葉県	私立	順天堂大学大学院	スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻	博士後期課程	10	¥ 200,000	¥ 550,000	¥ 50,000	¥ 800,000
東京都	私立	国士舘大学大学院	スポーツ・システム研究科	スポーツ・システム専攻	博士課程	3	¥ 240,000	¥ 770,000	¥ 334,000	¥ 1,344,000
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	体育科学専攻	博士後期課程	6	¥ 300,000	¥ 738,000	¥ 10,000	¥ 1,048,000
東京都	私立	日本体育大学大学院	体育科学研究科	コーチング学専攻	博士後期課程	3	¥ 300,000	¥ 738,000	¥ 10,000	¥ 1,048,000
神奈川県	私立	慶応義塾大学大学院	健康マネジメント研究科	公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	後期博士課程	5	-	¥ 660,000	¥ 60,000	¥ 720,000

※1 各大学院情報については、公式Webサイト等により調査しました。

※2 学費以外の諸会費等は含んでいません。

## ヒアリング結果

日 時	2020年1月28日(火) 11:00~12:30
調査団体	明治安田厚生事業団 体力医学研究所
先方担当者	副センター長 荒尾 孝 氏 主任研究員 甲斐 裕子 氏
本学担当者	体育学研究科 萩 裕美子

### 1. 調査団体の活動内容（企業であれば業務内容）

- ・健康に関わる諸問題の解決を目指し、運動を活用した心身の健康増進に関する調査研究
- ・明治安田新宿健診センターと協力して、ライフスタイル研究の実施
- ・健康科学分野に携わる若手研究者の活動支援を目的にした研究助成

### 2. 体育・スポーツ系分野の博士学位取得者の採用状況

- ・博士学位取得者を非定期ではあるが2019年度は2~3名程度募集している。
- ・研究員は全員博士学位取得者である。

### 3. 調査団体及び業界における博士学位取得者へのニーズ

- ・現在、体育・スポーツ系分野の博士学位取得者はいるものの、専門外についても興味関心を持って学際的な取り組みができる研究者が少ない。今後はプロジェクト研究（連携研究）が主流となっていくため、他分野と連携ができる博士学位取得者のニーズは高まっていくものと思われる。

### 4. 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）【設置構想中】への要望等

以下のような力をつけた修了生をぜひ採用したい。

- ・研究の成果を社会に還元する意思と方法を身につけた人材
- ・スポーツ科学が学際的な領域であることを認識し、文系理系両方の領域にアプローチができる人材
- ・情報マネジメント（収集、分析、提案）ができる人材
- ・プロジェクトマネジメントができる人材
- ・専門家集団をコーディネートして課題解決できるような人材

以 上

## ヒアリング結果

日 時	2020年2月13日(木) 14:00~14:30
調査団体	株式会社 DKH 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー26F 会議室にて
先方担当者	代表取締役 COO 慶徳 幌二 氏
本学担当者	体育学研究科 山田 洋

### 1. 調査団体の活動内容（企業であれば業務内容）

- ・ 体育・スポーツ、心理、リハビリ等の幅広い分野で人やものの動きを定量的に分析するツールを提供
- ・ 生体・動作計測機器の研究、開発、販売
- ・ 動作解析ソフトウェアの研究、開発、販売
- ・ 各種計測設備の導入コンサルタント、設置工事
- ・ 計測用周辺装置の研究、開発、販売
- ・ 計測用センサー及び周辺機器の輸入、販売

### 2. 体育・スポーツ系分野の博士学位取得者の採用状況

- ・ 体育・スポーツ系分野の博士学位取得者の採用実績はないが、現在、DKHには、体育学修士卒の社員が3名おり、内訳は技術部2名・営業部1名である。ここには、2017年度東海大学大学院修士課程体育学研究科修了の1名が含まれる。
- ・ 2019年度東海大学大学院修士課程体育学研究科修了予定の1名が、2020年4月より、MSCグループに新規採用予定であり、体育・スポーツ系分野の大学院修了者の採用を進めている状況にある。

### 3. 調査団体及び業界における博士学位取得者へのニーズ

- ・ 研究者を支援するツールは揃っている。新しいモノを生み出してくれることを期待している。例えば、作ったもの、研究成果をフィードバックするツールの開発等。
- ・ DKHは、MSCグループ全体と共に、健康系ビジネスにも力を入れたいと考えている。高齢化社会に向けた「健康維持・増進」のための製品開発、「健幸寿命の延伸」に伴う高齢者向けサービスの製品化。例えば独居老人向け見守りサービスなど。

### 4. 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）【設置構想中】への要望等

- ・ 研究の「成果を活用したモノづくり」を推進したい。研究成果を社会に還元できる人材養成を求める。

以 上

## ヒアリング結果

日 時	2020年2月12日（水）10：00～10：30
調査団体	日本電信電話（株）コミュニケーション科学基礎研究所
先方担当者	主任研究員 木村 聡貴 氏
本学担当者	体育学研究科 山田 洋

1. 調査団体の活動内容（企業であれば業務内容）
  - ・ 主要な研究のひとつとして、スポーツ脳科学プロジェクトに取り組んでいる。
  - ・ 通信事業、情報システム構築事業、都市開発事業
  - ・ 通信にかかわる基盤研究
  - ・ 本研究所では、情報と人間に関する新原理の発見・新概念の創出がミッション
2. 体育・スポーツ系分野の博士学位取得者の採用状況
  - ・ 数年に1名程度の採用実績である。
  - ・ ポスドクでの採用実績がある。（正社員になった事例あり）
3. 調査団体及び業界における博士学位取得者へのニーズ
  - ・ スポーツ市場の開拓・参入は業界として大きな関心をもっており、スポーツの現場の動向に精通し、データ分析などのノウハウを有する人材を求めている。
4. 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）【設置構想中】への要望等
  - ・ 現場の感覚をもちつつ、スポーツに関する情報処理などの専門性を備えた人材を育てていただきたい。

以 上

東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）の設置に関するアンケート調査 集計結果  
（人材需要に関する調査）

調査対象：博士課程後期修了者の採用が想定される企業・団体  
調査実施期間：2020年8月11日（金）～18日（火）

調査依頼数	52		
有効回答数	34		
設問		件数	全体%
設問1.	貴社・貴団体名をお知らせください。		
	株式会社、公益財団法人、社会福祉法人 等	—	—
設問2.	本アンケート回答者様のご所属・役職をお知らせください。		
	代表取締役、人事部長、総務部主任 等	—	—
設問3.	貴社・貴団体の業務内容・活動内容を差し支えない範囲でお知らせください。		
	スポーツ・身体活動に関する調査研究、競技および生涯スポーツの推進 等	—	—
設問4.	東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士後期課程）【設置構想中】が養成する人材は、貴社・貴団体及び業界において必要であると思われますか。		
	とても必要だと思う	15	44.1%
	必要だと思う	15	44.1%
	あまり必要でないと思う	0	0.0%
	必要でないと思う	1	2.9%
	わからない	3	8.8%
設問5.	東海大学大学院体育学研究科体育学専攻（博士後期課程）【設置構想中】の修了者を採用したいと思われますか。		
	採用したい	17	50.0%
	採用したいと思わない	1	2.9%
	わからない	16	47.1%



## 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻 (博士後期課程) 【設置構想中】 の設置に関するアンケート調査 (企業・団体 人事・採用ご担当者対象)

東海大学では、現在、体育学研究科体育学専攻(修士課程)を基礎とする体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)の設置計画を進めております。

このアンケート調査を通して、人事・採用ご担当者の皆様からご意見を伺い、より充実した博士課程後期設置のための参考とさせていただきたいと考えております。メールでご案内した別添資料を参照のうえ、設問にご回答ください。

なお、この調査結果は、当課程を設置するための参考資料としてのみ使用し、その他の用途には使用いたしません。アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。

\* 必須

1. 貴社・貴団体名をお知らせください。 例) 株式会社〇〇、一般社団法人〇〇 \*

回答を入力してください

2. 本アンケート回答者様の役職・氏名をお知らせください。 例) 人事課長〇〇、主任研究員〇〇 \*

回答を入力してください

3. 貴社・貴団体の業務内容・活動内容を差し支えない範囲でお知らせください。 \*

回答を入力してください

4. 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻(博士後期課程)【設置構想中】が養成する人材は、貴社・貴団体及び業界において必要であると思われますか。 \*

- とても必要だと思う
- 必要だと思う
- あまり必要でないと思う
- 必要でないと思う
- わからない

5. 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻(博士後期課程)【設置構想中】の修了者を採用したいと思えますか。 \*

- 採用したい
- 採用したいと思わない
- わからない

6. 本学体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)【設置構想中】への要望等ございましたらご記入ください。

回答を入力してください

----- 体育学研究科体育学専攻（修士課程・博士課程前期／博士課程後期※設置構想中）について -----

## 1. はじめに

体育学研究科体育学専攻修士課程（博士課程前期）は、目まぐるしく変化していく社会に対し、広域化への対応を進めつつ、学部・大学院教育を通じ、より高度化した教育研究により社会への貢献を進めてきました。

このたび、修士課程（博士課程前期）の研究内容や高度解析技術を発展させて、極めて高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備え、専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する体育・スポーツ科学の人材を育成することを設置の理念・目的として、博士課程後期を設置します。

## 2. 博士課程後期※設置構想中の概要

名称：体育学研究科体育学専攻（博士課程後期）

◎以下「博士後期」と表記

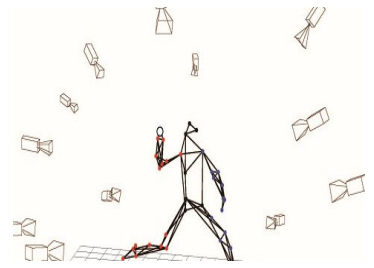
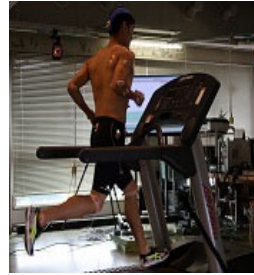
学位：博士（体育学）

定員：入学定員3名

標準修業年限：3年

開設時期：2021年4月1日

開設校舎：湘南校舎



「動き」を測る

## 3. 養成する人材像

修士（博士前期）では、「理論」と「実践」を重視した「体育・スポーツ科学」研究を通じて、より高度な職業人の育成を目指します。

博士後期では、他領域・他分野との研究・教育における融合を推進し、幅広い知識・考え方を修得して独創性・創造性に優れた高い研究能力を有し、それを社会に還元できる能力を有する**研究者（大学教員、企業などの研究員）**、**専門職（スポーツアナリスト、スポーツ・アドミニストレーター）**の育成を目指します。

## 4. 本学修士修了生の紹介

**金藤 理絵さん** 体育学研究科体育学専攻（修士）2012年度修了／リオ五輪 女子200m平泳ぎ優勝（金メダル）

大学4年間より少人数指導となり、指導内容もより専門的になります。また、知識を教わるだけでなく自ら研究することを通して、後輩たちに教える機会も増えるので、自分の知識や能力の整理・把握ができました。より責任も増え、自分のやるべきことが明白になり、今後のスキルアップにつながる、大切な2年間になりました。

**長尾 秀行さん** 体育学研究科体育学専攻（修士）2010年度修了／国立スポーツ科学センター スポーツ研究部 研究員

大学院は、学部を卒業するまでに学ぶことで習得してきた知恵、知識、技能を最大限に活用する場です。それでもすぐには解決できない課題に何度も悩まされることでしょう。しかしその度に悩み、考えることは大変価値のある経験になりました。大学院で多くを学び、また経験して研究課題の答えを探究したことは良い学びとなりました。